

2020年8月期 中間決算短信（非連結）

2020年4月15日

会 社 名 日本ジッコウ株式会社 本社所在都道府県 兵庫県
 本社所在地 兵庫県神戸市西区南別府一丁目14番6号
 問い合わせ先 責任者役職名 取締役経理部長
 氏 名 西村 圭三 TEL (078) 974-1388

1. 2020年8月期中間期の業績（2019年9月1日～2020年2月29日）

- (注) 1. 本中間期決算短信の数値は、未監査です。
 2. 本中間期決算短信の数値は、税効果会計の適用等、所要の会計上の修正を行っていません。
 3. 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

(1) 経営成績

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益
	百万円 %	百万円 %	百万円 %
2020年中間期	2,467 (13.0)	222 (26.4)	247 (31.3)
2019年中間期	2,183 (△2.6)	176 (12.0)	188 (14.8)

	中 間 純 利 益	1 株 当 たり 中 間 純 利 益	潜在株式調整後 1株当たり中間純利益	自 己 資 本 当 期 純 利 益 率	総資産 経常利益率	売上高 経常利益率
	百万円 %	円 銭	円 銭	%	%	%
2020年中間期	217 (23.3)	901 16	—	36.5	11.6	10.0
2019年中間期	176 (7.6)	730 67	—	35.4	9.9	8.6

- (注) 1. 期中平均株式数 2020年中間期 241,900株 2019年中間期 241,900株
 2. 会計処理の方法の変更 有 ・ 無
 3. 売上高、営業利益、経常利益、中間純利益におけるパーセント表示は、対前年同中間期増減率です。
 4. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、当社株式は非上場であるため、期中平均株価が把握できませんので記載していません。

(2) 財政状態

	総 資 産	純 資 産	自己資本比率	1 株 当 たり 純 資 産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年中間期	2,459	701	28.5	2,899 42
2019年中間期	2,139	584	27.3	2,414 41

- (注) 期末発行済株式数 2020年中間期 241,900株 2019年中間期 241,900株

(3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期 末 残 高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年中間期	△194	△23	254	215
2019年中間期	169	△5	△67	224

(注) キャッシュ・フローの状況における現金及び現金同等物には、預け入れ期間が3ヶ月を超える定期預金は含まれておりません。

2. 2020年8月期の業績予想(2019年9月1日～2020年8月31日)

	売 上 高	経常利益	当期純利益	1株当たり年間配当金(円)				
				第1四半期	中間期末	第3四半期	期 末	年 間
	百万円	百万円	百万円					
通 期	4,000	190	120	—	—	—	—	—

(注) 1. 1株当たり予想当期純利益(通期) 496円07銭

2. 当社は中間決算を行っておりませんので中間期の業績及び配当金予想は記載しておりません。

3. 上記に記載した予想数値は、現時点での入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確実な要素を含んでおります。実際の実績等は、業績の変化等により、上記数値と異なる場合があります。

2020年4月15日

第46期 中間決算報告書

(2019年9月1日から2020年2月29日まで)

会社名(定款上の商号)	日本ジッコウ株式会社
英文名(英文商号)	NIPPON JIKKOU CO., LTD
代表者の役職氏名	代表取締役会長 佐藤 武司
本店の所在の場所	兵庫県神戸市西区南別府一丁目14番6号
電話番号	078-974-1388
連絡者	取締役経理部長 西村 圭三

I 中間期の業績

(1) 損益計算書

(単位: 千円)

期 別 科 目	前中間会計期間 自 2018年9月1日 至 2019年2月28日	当中間会計期間 自 2019年9月1日 至 2020年2月29日
I 売上高	2,183,877	2,467,076
II 売上原価	1,516,307	1,706,327
売上総利益	667,569	760,749
III 販売費及び一般管理費	491,399	538,059
営業利益	176,170	222,689
IV 営業外収益	18,183	29,693
V 営業外費用	5,791	4,816
経常利益	188,561	247,566
VI 特別利益	-	-
VII 特別損失	-	854
税引前中間純利益	188,561	246,712
法人税、住民税及び事業税	11,811	28,720
中間純利益	176,750	217,992

※記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

(注)

期 別 科 目	前中間会計期間 自 2018年9月1日 至 2019年2月28日	当中間会計期間 自 2019年9月1日 至 2020年2月29日
期中平均株式数	241,900 株	241,900 株
1株当たり中間純利益	730 円 67 銭	901 円 16 銭
潜在株式調整後1株当たり 中間純利益	—	—

※潜在株式調整後1株当たり中間純利益については、当社株式は非上場であるため、期中平均株価が把握できませんので記載しておりません。

(2) 事業部門別売上高

(単位：千円)

事業の種類 \ 期 別	前中間会計期間	当中間会計期間
	自 2018 年 9 月 1 日 至 2019 年 2 月 28 日	自 2019 年 9 月 1 日 至 2020 年 2 月 29 日
防 食 工 事 関 連	1,098,541	1,141,233
建 設 材 料 販 売 関 連	881,859	1,073,982
混 和 剤 関 連	203,477	251,861
合 計	2,183,877	2,467,076

(3) 貸借対照表

(単位：千円)

期 別 科 目	前事業年度 (2019年8月31日現在)	当中間会計期間 (2020年2月29日現在)
	金 額	金 額
(資産の部)		
I 流動資産		
1. 現金及び預金	209,368	245,403
2. 受取手形	43,461	92,684
3. 売掛金	499,276	1,057,274
4. 商品	15,855	10,813
5. 前払費用	7,737	5,599
6. 短期貸付金	11,602	29,202
7. その他流動資産	9,469	25,144
8. 貸倒引当金	△77	△77
流動資産合計	796,692	1,466,045
II 固定資産		
1. 有形固定資産		
(1) 建物	163,582	166,908
(2) 構築物	651	620
(3) 工具器具備品	269	103
(4) 土地	376,738	376,738
(5) リース資産	9,251	8,357
有形固定資産合計	550,493	552,728
2. 無形固定資産		
(1) 電話加入権	0	0
(2) ソフトウェア	2,978	2,646
無形固定資産合計	2,978	2,646
3. 投資その他の資産		
(1) 関係会社株式	85,000	85,000
(2) 投資有価証券	107,168	107,168
(3) 事業保険積立金	133,987	135,493
(4) 長期前払費用	3,432	3,355
(5) 敷金・差入保証金	59,665	56,408
(6) 会員権	600	1,350
(7) 繰延税金資産	38,251	38,251
(8) その他投資等	23,890	22,392
(9) 貸倒引当金	△11,650	△10,865
投資その他の資産合計	440,345	438,554
固定資産合計	993,817	993,929
資産合計	1,790,510	2,459,974

(単位:千円)

期 別 科 目	前事業年度 (2019年8月31日現在)	当中間会計期間 (2020年2月29日現在)
	金 額	金 額
(負債の部)		
I 流 動 負 債		
1. 支 払 手 形	180,442	153,095
2. 買 掛 金	175,940	251,617
3. 短 期 借 入 金	-	315,000
4. 1 年 内 返 済 予 定 長 期 借 入 金	102,161	83,974
5. 未 払 金	108,745	213,753
6. 未 払 法 人 税 等	47,522	28,720
7. 未 払 消 費 税 等	22,637	58,218
8. 未 払 費 用	55,284	39,492
9. 預 り 金	4,794	3,469
10. 賞 与 引 当 金	-	45,000
流 動 負 債 合 計	697,528	1,192,340
II 固 定 負 債		
1. 社 債	100,000	100,000
2. 長 期 借 入 金	352,124	320,549
3. 退 職 給 付 引 当 金	26,021	26,021
4. ク レ ー ム 引 当 金	69,218	69,218
5. 長 期 未 払 費 用	18,250	17,054
6. 預 り 保 証 金	11,325	12,537
7. リ ー ス 債 務	9,211	8,317
8. 繰 延 税 金 負 債	12,566	12,566
固 定 負 債 合 計	598,718	566,264
負 債 合 計	1,296,247	1,758,604
(純資産の部)		
I 株 主 資 本		
1. 資 本 金	98,000	98,000
2. 資 本 剰 余 金		
(1) 資 本 準 備 金	54,128	54,128
資 本 剰 余 金 合 計	54,128	54,128
3. 利 益 剰 余 金		
(1) 利 益 準 備 金	3,023	4,112
(2) その他利益剰余金		
特別償却準備金	3,393	3,393
繰越利益剰余金	311,214	517,233
利 益 剰 余 金 合 計	317,632	524,739
株 主 資 本 合 計	469,761	676,867
II 評 価 ・ 換 算 差 額 等		
その他有価証券評価差額金	24,502	24,502
評 価 ・ 換 算 差 額 等 合 計	24,502	24,502
純 資 産 合 計	494,263	701,369
負 債 ・ 純 資 産 合 計	1,790,510	2,459,974

※記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

(注)

期 別 項 目	前事業年度 (2019 年 8 月 31 日現在)	当中間会計期間 (2020 年 2 月 29 日現在)
発 行 済 株 式 総 数	241,900 株	241,900 株
1 株 当 た り 純 資 産 額	2,043 円 25 銭	2,899 円 42 銭

(4) 株主資本等変動計算書

当中間会計期間（自 2019 年 9 月 1 日 至 2020 年 2 月 29 日）

(単位：千円)

項目	株主資本						評価・換算 差額等	純資産 合 計
	資本金	資本 剰余金	利益剰余金			株主資本 合 計	その他 有価証券 評価差額金	
		資本 準備金	利益 準備金	その他 利益剰余金				
				特別償却 準備金	繰越利益 剰余金			
2019 年 9 月 1 日残高	98,000	54,128	3,023	3,393	311,214	469,761	24,502	494,263
当中間変動額								
剰余金の配当			1,088		△11,974	△10,885		△10,885
中間純利益					217,992	217,992		217,992
当中間変動額合計	－	－	1,088	－	206,018	207,106	－	207,106
2020 年 2 月 29 日残高	98,000	54,128	4,112	3,393	517,233	676,867	24,502	701,369

(5) 貸借対照表及び損益計算書の作成の基本となる事項

中間期の貸借対照表及び損益計算書の作成の基礎としている会計処理の原則及び手続は、下記事項を除き正規の決算において採用している基準と同一のものを適用しております。正規の決算において採用している会計方針は「会社内容説明書 第5 経理の状況 (4) 個別注記表①重要な会計方針に係る事項に関する注記」をご参照下さい。

事業年度の貸借対照表及び損益計算書の作成のために採用している会計処理の原則及び手続と異なる会計処理の基準は次のとおりです。

1. 固定資産の減価償却の方法

中間期の減価償却費は年間発生見積額の2分の1に該当する金額を計上しております。有形固定資産に関しては貸借対照表上、簿価を直接減額する直接控除方式を採用しております。

2. 貸倒引当金の計上基準

貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を検討し回収不能額を計上しております。その他一般債権については前期と同額を計上しております。

3. 経過勘定項目の会計処理

未収収益、未払費用等の経過勘定項目のうち、重要性の低い項目は、中間期報告書上、資産及び負債への計上を省略しております。

尚、当該中間期の貸借対照表、損益計算書及び株主資本等変動計算書については、会計監査を受けておりません。

(6) 会計方針の変更

該当事項はありません。

Ⅱ 第46期中間期（2019年9月1日～2020年2月29日）の業績の概況

当社が専門とするコンクリートの補改修市場については、高度経済成長期に大量に建設されたインフラが高齢化を迎え、これらのインフラの維持管理が重要な課題となっております。重大な事故を未然に防ぎ、長期に渡り維持管理するためには、損傷箇所の早期発見、早期改修を計画的に推進する必要があります。

そのような状況において、当社はコンクリート劣化の調査診断、補改修の施工管理機能を備え、市場ニーズに対応してまいります。インフラマネジメントを推進することにより、インフラ構造物の長寿命化を図り、技術改革において点検・診断作業の省力化を目指しております。

当中間期に関しましては、公共の防食工事物件数は、主力の水施設関連を中心にほぼ前年並みを維持し、売上高は防食工事関連で1,141,233千円（前年同期比3.9%増）、自社防食工事に使用する材料、及び特販事業部を中心とした化成品販売の増加に伴い、建設材料販売関連の売上高は1,073,982千円（前年同期比21.8%増）となりました。混和剤関連の売上高は、生コンに使用する高機能薬剤の販売が関西圏、及び四国で順調に進み、251,861千円（前年同期比23.8%増）となりました。

以上の結果、当中間期は、売上高2,467,076千円（前年同期比13.0%増）、営業利益222,689千円（前年同期比26.4%増）、経常利益247,566千円（前年同期比31.3%増）、中間期純利益217,992千円（前年同期比23.3%増）となりました。

Ⅲ 第46期（2019年9月1日～2020年8月31日）の売上高及び利益の予測について

（単位：千円）

科 目	期 別	第45期(実績)	第46期(計画)
		自 2018年9月1日 至 2019年8月31日	自 2019年9月1日 至 2020年8月31日
売 上 高		3,800,173	4,000,000
経 常 利 益		188,773	190,000
当 期 純 利 益		116,020	120,000

IV 資金及び借入金の状況

(1) 現金及び預金の増減

(単位：千円)

期 別 項 目	当中間会計期間 自:2019年 9月 1日 至:2020年 2月 29日
現金及び預金の増減額	36,034
現金及び預金の中間期首残高	209,368
現金及び預金の中間期末残高	245,403

(主な増減理由) 財務キャッシュ・フローの増加によるものです。

(2) 長期借入金の増減

(単位：千円)

期 別 項 目	当中間会計期間 自:2019年 9月 1日 至:2020年 2月 29日
長期借入金の増減額	△49,762
長期借入金の中間期首残高	454,285
長期借入金の中間期末残高	404,523

(主な増減理由) 借入の返済によるものです。

(注) 長期借入金は、1年内返済予定長期借入金を含んでおります。

(3) 短期借入金の増減

(単位：千円)

期 別 項 目	当中間会計期間 自:2019年 9月 1日 至:2020年 2月 29日
短期借入金の増減額	315,000
短期借入金の中間期首残高	-
短期借入金の中間期末残高	315,000

(主な増減理由) 運転資金の借入によるものです。

V その他

該当事項はありません。